

富士見市デマンドタクシーの利用状況について

(令和元年 6 月 1 日～令和 2 年 8 月 31 日)

I. デマンドタクシー運行比較表

	富士見市デマンドタクシー	富士見市デマンド交通実証運行
運行期間	令和元年 6 月 1 日～ 令和 2 年 8 月 31 日	平成 29 年 8 月 1 日～ 平成 30 年 1 月 31 日
運行時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分	午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分
利用料金	利用料金の半額 ※ 1 運行の上限補助額は 500 円	タクシーメーターの半額
利用回数	年度内 12 回	制限なし
運行結果	登録者数…… 8,045 人 利用件数……18,086 件 実利用人数… 3,100 人	登録者数…… 7,238 人 利用件数……20,019 件 実利用人数… 2,109 人
乗降場所	乗車地、降車地いずれか一方が 富士見市内	自宅または共通乗降場 (370 箇所)

II. 各データ

(1) 登録状況について

① 年齢別登録者数

- ・ 70 歳代の登録が最も多く (29.5%)、60 歳以上の高齢者が全体の 6 割 5 分超 (65.1%) であった。

《実証運行時との比較》

- ・ 80 歳代の割合が増加しているが、60 歳以上の高齢者全体で見た場合、大きな変化は見られなかった。

② 男女別登録者数

- ・ 女性が 6 割を占める。

《実証運行時との比較》

- ・ 大きな変化は見られなかった。

③ 地域別登録者数

- ・人口に対しての登録者数の割合は、東武東上線の東側地区が 7.3%となっており、西側地区は 7.0%となっていることから、登録率に差はほとんどなかった。東側地区では貝塚 1～2 丁目、鶴馬、渡戸 1～3 丁目、西側地区では勝瀬、関沢 2～3 丁目、上沢 3 丁目上位を占める。

《実証運行時との比較》

- ・東武東上線東側地区での登録率に大きな変化は見られないが、西側地域での登録率が 1.4%上昇した。

④ 職業別登録者数

- ・無職が過半数を超え(51.6%)、次いで会社員(18.3%)、パート・アルバイト(8.5%)の順であった。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

(2) 利用状況について

令和元年 12 月に中国で新型コロナウイルス関連肺炎の発生が報告され、日本においても感染が確認されて以降、利用件数は減少の傾向にあり、緊急事態宣言が発令された 4 月は最も減少した。緊急事態宣言解除後については、徐々に利用件数が増加傾向にある。

① 年齢別延べ利用件数

- ・80 代が最も多く (37.3%)、60 歳以上の高齢者が全体の約 8 割を占める (78.3%)。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

② 男女別延べ利用件数

- ・女性が約 7 割以上を占める。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

③ 時間帯別延べ利用件数

- ・午前中の利用が多く、9 時台、10 時台の順に利用件数が多い。

《実証運行時との比較》

- ・9時台、10時台が微増となっているが、大きな変化は見られなかった。

④ 曜日別延べ利用件数

- ・土日は少なく、平日に大きな差は見られなかった。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

⑤ 地域別延べ利用件数

- ・東武東上線東側地区では鶴馬 1～3 丁目、渡戸 1～3 丁目、羽沢 1～3 丁目の順に利用が多く、東武東上線西側では関沢 2～3 丁目、鶴瀬西 2～3 丁目の順に利用件数が多かった。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

⑥ 目的地別延べ利用件数（※実証運行時は共通乗降場が定められていた）

○乗車場所について

- ・自宅が最も多く全体の 6 割を占める。次いで鉄道駅、病院、商業施設の順に乗車が多かった。

《実証運行時との比較》

- ・鉄道駅の割合が約 6%減少しているが、市外の利用が可能となったことが要因と思われる。なお、その他は大きな変化は見られなかった。

○降車場所について

- ・自宅が最も多く（27.2%）、次いで鉄道駅、市外、病院の順に降車が多かった。

《実証運行時との比較》

- ・自宅、鉄道駅、病院それぞれ降車割合が減少しているが、市外の利用が可能となったことが要因と思われる。なお、その他は大きな変化は見られなかった。

⑦ 乗降場所別利用件数上位について（自宅は除く）

- ・乗車、降車ともイムス富士見総合病院が最も多かった。また、ふじみ野駅西口を除く市内鉄道駅全てが上位に入っている。

《実証運行時との比較》

- ・乗車、降車とも実証運行時は、みずほ台駅東口が最も多かったが、今回はイムス富士見総合病院が最も多かった。なお、みずほ台駅東西口の乗降件数が減少した。

(3) 実利用人数について

① 年齢別実利用人数

- ・80歳代が最も多く(31.2%)、60歳以上の高齢者が全体の7割以上(72.0%)を占める。

《実証運行時との比較》

- ・80歳代の利用率が6.2%上昇しているが、60歳以上の高齢者全体で見た場合、大きな変化は見られなかった。

② 男女別実利用人数

- ・女性が7割以上(70.4%)を占める。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

③ 職業別実利用人数

- ・無職が6割近く(57.2%)を占め、次いで会社員(12.8%)、要介護認定(7.8%)の順に多い。

《実証運行時との比較》

- ・大きな変化は見られなかった。

④ 地域別実利用人数

- ・東武東上線東側地区では鶴馬1～3丁目、上沢1～2丁目、貝塚1～2丁目の順に利用率が高く、東武東上線西側では上沢3丁目、針ヶ谷地域の順に利用率が高かった。ふじみ野地域では東側・西側両方において利用率が低いものとなった。

《実証運行時との比較》

- ・東武東上線東側地区では鶴馬1～3丁目、上沢1～2丁目、貝塚1～2丁目の利用率が上昇しており、また東武東上線西側では上沢3丁目、針ヶ谷地域の利用率が上昇している。利用率が低い地域に大きな変化は見られなかった。

⑤ 利用回数別実利用人数（令和元年度）

- ・1回(26.5%)、2回(17.0%)利用の順に割合が高く、12回(12.9%)利用は3番目に割合が高かった。

《実証運行時との比較》

- ・利用回数に制限がないため、比較は行わないものとする。

【総括】

1. 運行日・運行時間について

平日の利用が多く、土日は利用が少ない。また、午後に比べ午前中の利用が多かった。

2. 利用者について

登録者のうち、実際に利用した人は約39%であり、そのうち、約70%は60歳以上の高齢者であった。また、登録者の約65%が60歳以上の高齢者であることから、デマンドタクシーは高齢者層に関心のある事業であることが推察される。

3. 乗降場所について

自宅が乗車場所として約60%、降車場所としては約27%であることから、自宅までの帰りの交通手段は別にあるものと推察される。乗車・降車場所とも利用率が高かったのは鉄道駅で、ふじみ野駅西口を除く市内3駅が乗降場所として上位に位置している。

また、病院の乗車・降車も多く、イムス富士見総合病院は個別乗降場所として最も利用が多かった。

4. 地域別の特徴について

東武東上線東側地域と西側地域を比べると、登録率はほぼ同じであった。

利用率においても東側・西側で大きな差はなかった。

登録者では、東側地区では貝塚1~2丁目、鶴馬、渡戸1~3丁目、西側地区では関沢2~3丁目、上沢3丁目、勝瀬で登録が多かった。

利用率では、東側地区では鶴馬1~3丁目、上沢1~2丁目、貝塚1~2丁目の順に利用率が高く、西側地区では上沢3丁目、針ヶ谷地域の順に利用率が高かった。

5. 今後について

今回のデータから、デマンドタクシーは60歳以上の高齢者層に多く利用されており、全体の70%以上を占めることが分かった。平成29年度に実施したデマンドタクシー実証運行時においても利用者年齢層が近似した結果であったことから、高齢者の移動手段として多く活用されていることが分かった。今後もデマンドタクシー利用状況の分析を継続し、分析結果に基づき必要に応じて市内公共交通の見直し等を行い、利便性の高い市内公共交通網の構築に努める。